

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 株式会社 藤商事
 コード番号 6257 URL <https://www.fujimarukun.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画本部長 (氏名) 村上 和繁
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6949-0323

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,443		919		922		706	
2019年3月期第1四半期								

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 441百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	31.53	
2019年3月期第1四半期		

(注) 2019年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第1四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	51,012	44,728	87.7
2019年3月期	53,557	45,729	85.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 44,728百万円 2019年3月期 45,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		25.00		25.00	50.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	64.5	3,500	161.6	3,500	133.4	2,300	188.8	102.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	24,395,500 株	2019年3月期	24,395,500 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,000,045 株	2019年3月期	2,000,045 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	22,395,455 株	2019年3月期1Q	23,395,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2019年7月30日(火)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2019年3月期第2四半期連結会計期間より、当社グループの遊技機メーカーであります株式会社J F Jを連結の範囲に含めております。

前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、政府主導による経済政策などを背景に企業収益や雇用情勢は改善し、景気は緩やかな回復基調が継続しました。しかしながら、通商問題の動向や海外経済の不確実性が国内経済に与える影響などには十分留意することが必要な状況にあります。

パチンコホール業界におきましては、のめり込み防止や依存症対策の一環として過度の射幸性を抑えた遊技機の導入をはじめ、さまざまな施策を通じてファンの皆様がパチンコ・パチスロをより安心・安全に楽しめる環境づくりを推進しております。また、遊技機業界におきましては大衆娯楽としてのパチンコ・パチスロの魅力を備えた多種多様な遊技機の開発を推進しております。

このような状況のもと当社は、ものづくりに対する今までの常識や慣習にとらわれることなく、自らが変化に順応する『変わる挑戦』に挑み続けることにより、新たな試みや独自性の追求など、差別化された商品性の実現を目指しております。そして、ファンの皆様に何度でも楽しんでいただけるとともに、パチンコホール様の収益に貢献できる稼働力を備えた遊技機の安定的な市場投入に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、パチンコ遊技機にて人気タイトルのシリーズ機種を市場投入し、販売台数の確保に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高44億43百万円、営業損失9億19百万円、経常損失9億22百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失7億6百万円となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

(パチンコ遊技機)

パチンコ遊技機につきましては、当社初となるミドルスペックの設定付パチンコ遊技機「P緋弾のエリアⅢ 設定付」(2019年4月発売)を市場投入したほか、前連結会計年度に発売したシリーズ機種などを追加販売いたしました。以上の結果、販売台数は10千台、売上高44億40百万円となりました。

(パチスロ遊技機)

パチスロ遊技機につきましては、当第1四半期連結累計期間での新機種の発売はありませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は314億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億79百万円減少いたしました。これは主に、前渡金が9億79百万円増加したことに対し、現金及び預金が20億64百万円、受取手形及び売掛金が14億16百万円減少したことによるものであります。固定資産は195億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億34百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が2億77百万円、繰延税金資産が1億17百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は510億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億44百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は45億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億52百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が14億26百万円減少したことによるものであります。固定負債は17億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る負債が9百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は62億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億43百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は447億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失7億6百万円および剰余金の配当5億59百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は87.7% (前連結会計年度末は85.4%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,211	20,147
受取手形及び売掛金	3,085	1,668
商品及び製品	3	0
原材料及び貯蔵品	4,709	4,658
前渡金	2,483	3,463
未収還付法人税等	817	817
その他	1,265	890
貸倒引当金	△102	△151
流動資産合計	34,473	31,493
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,442	3,416
土地	3,135	3,135
その他(純額)	2,026	2,148
有形固定資産合計	8,604	8,700
無形固定資産	305	301
投資その他の資産		
投資有価証券	3,157	3,434
長期前払費用	3,080	3,031
繰延税金資産	3,062	3,180
その他	1,178	1,176
貸倒引当金	△305	△305
投資その他の資産合計	10,174	10,517
固定資産合計	19,084	19,519
資産合計	53,557	51,012

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,151	2,724
賞与引当金	463	229
役員賞与引当金	46	—
その他	1,435	1,588
流動負債合計	6,095	4,543
固定負債		
退職給付に係る負債	826	836
その他	905	905
固定負債合計	1,732	1,741
負債合計	7,827	6,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	41,147	39,881
自己株式	△2,324	△2,324
株主資本合計	45,332	44,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	399	663
退職給付に係る調整累計額	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	396	661
純資産合計	45,729	44,728
負債純資産合計	53,557	51,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,443
売上原価	2,184
売上総利益	2,258
販売費及び一般管理費	3,178
営業損失(△)	△919
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	40
その他	12
営業外収益合計	54
営業外費用	
貸倒引当金繰入額	50
シンジケートローン手数料	4
その他	1
営業外費用合計	56
経常損失(△)	△922
特別損失	
投資有価証券評価損	0
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△922
法人税、住民税及び事業税	15
法人税等調整額	△231
法人税等合計	△216
四半期純損失(△)	△706
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△706

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△706
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	263
退職給付に係る調整額	0
その他の包括利益合計	264
四半期包括利益	△441
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△441

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。